

- 問1 14世紀の日本では、京都の北朝と吉野の南朝の二つの朝廷が対立する動乱が続いていました。この約60年に及ぶ内乱を、1392年に南朝と北朝の合一（南北朝の合一）を実現させることで終結させ、幕府の支配力を高めた室町幕府第3代将軍は誰ですか。 （2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 足利義政                      2. 足利義満                      3. 足利義教                      4. 足利尊氏
- 問2 室町時代の農村社会において、村の自治組織である惣（惣村）が行っていた主な活動として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 （2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 幕府の命令により、年貢の納入や犯罪防止について村全体で連帯責任を負わされた。                      2. 同業者の組合を結成し、商品の販売ルートや価格を協定して利益を確保した。                      3. 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。                      4. 幕府から営業の独占権を得る代わりに税を納め、商売の権利を守った。
- 問3 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、明との間で朝貢形式の貿易を開始した目的や背景として最も適切な説明はどれですか。 （2017年 大阪府公立入試 類似）
1. 国内の米不足を解消するために、東南アジア産の米を輸入するため                      2. 武士の力を抑えるために、明から軍事的な支援を受けるため                      3. キリスト教を広めることで、仏教勢力に対抗しようとしたため                      4. 幕府の財政を潤すとともに、自身の権威を内外に示すため
- 問4 北山文化の時代に、足利義満が観阿弥・世阿弥親子を保護し、民衆の芸能を昇華させて大成させた伝統芸能は何ですか。 （2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 人形浄瑠璃                      2. 歌舞伎                      3. 落語                      4. 能（猿楽の能）
- 問5 室町時代の外交と経済について、足利義満が明との貿易を開始した際の状況を説明したものとして正しいものはどれですか。 （2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島に成立した高麗からの要請を受け、大陸との平和的な文化交流を目指した                      2. 明の皇帝に臣下の礼をとる形で「日本国王」に封じられ、朝貢の形式で行われた                      3. 有力な守護大名や博多の商人が主体となり、幕府の許可なく自由な貿易を推奨した                      4. ポルトガル人との貿易を有利に進めるため、明を仲介役として利用した
- 問6 京都の自治の歴史に関する記述の中で、室町時代に活躍した町衆の活動について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 応仁の乱によって中断していた祇園祭を復興させ、自らの手で都市の自治を担った。                      2. 保元の乱などの戦乱を避けるため、有力な寺院の門前に集まって寺内町を形成した。                      3. 地侍や農民を中心として寄り合いを開き、村の掟を定めて団結する惣村を形成した。                      4. 幕府から営業の独占権を認められた特権的な組合である株仲間を組織し、流通を支配した。
- 問7 15世紀の略年表に、禅僧である雪舟が明へ渡ったという記録があります。彼が当時の中国で学んだ技法を基に、日本において大成させた芸術様式はどれですか。 （2026年 長野県公立入試 類似）
1. 水墨画                      2. 浮世絵                      3. 大和絵                      4. 唐絵
- 問8 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品々が納められている正倉院には、インドや西アジアを原産とする宝物が数多く見られます。これらの品々が当時の日本に伝わった歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2023年 長野県公立入試 類似）
1. アイヌの人々との交易が活発になり、北方ルートを通じて西アジアの工芸品が京都へ流入した。                      2. 内陸アジアを横断するシルクロードを経由して唐へもたらされた品々が、遣唐使などによって日本へ運ばれた。                      3. 中国で発明された火薬や羅針盤がイスラム世界へ伝わる過程で、日本にもこれらの技術が直接伝来した。                      4. 南蛮貿易を通じて、ヨーロッパの商人が銀と引き換えに西アジアの特産品を日本へ持ち込んだ。
- 問9 室町時代、近江国（滋賀県）の今堀日吉神社の文書などに記されているように、当時の農民たちは「惣」と呼ばれる自治組織を形成していました。この組織において、村の寄合によって定められた、入会地の利用や生活の秩序に関する独自の決まりを何と呼びますか。 （2020年 滋賀県公立入試 類似）
1. 武家諸法度                      2. 惣掟                      3. 公事方御定書                      4. 御成敗式目
- 問10 日明貿易において「勘合」と呼ばれる札が使用された理由として、当時の日本の立場を踏まえた説明はどれか。 （2024年 福井県公立入試 類似）
1. 元寇以来の敵対関係を解消するために、日本側から明の皇帝へ贈る貢ぎ物の総額を管理するため。                      2. 明の皇帝に従う「臣従」の形をとった正式な貿易船と、沿岸部を荒らしていた倭寇（海賊）を区別するため。                      3. キリスト教の布教を目的とするヨーロッパの船を排除し、仏教文化のみを輸入する制限を設けるため。                      4. 日本が明の領土の一部であることを証明し、日本の商人が明の国内で自由に商売を行う許可を与えるため。
- 問11 応仁の乱以後、室町幕府の支配力が弱まったことで、各地で実力のある者が上の身分の者を倒して勢力を広げる社会的な風潮が見られるようになりました。このような風潮を何と呼びますか。 （2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 御恩と奉公                      2. 下剋上                      3. 徳政                      4. 寄合
- 問12 室町時代、3代将軍の足利義満が明（中国）との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊である「倭寇」と、幕府が公認した正式な貿易船を識別するために用いられた道具の名称を答えなさい。 （2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 勘合                      2. 引換状                      3. 朱印状                      4. 奉書
- 問13 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。このように、わざわざ特別な札を照らし合わせる仕組みを取り入れた本来の目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2021年 静岡県公立入試 類似）
1. 明からの輸入品である鉄砲や火薬に高い関税をかけるため                      2. キリスト教の宣教師が日本へ密入国するのを厳重に監視するため                      3. 正式な貿易船と、倭寇と呼ばれる海賊による船を明確に区別するため                      4. 日本国内の商人が勝手に海外へ銀を輸出することを禁止するため
- 問14 日本海を経由する海上交易の拠点の一つで、本州北端の津軽半島の付け根、日本海側に位置した港町の歴史的特徴として正しいものはどれか。 （2021年 北海道公立入試 類似）
1. 遣明船の発着地として栄え、町衆と呼ばれる裕福な商工業者が都市を運営した。                      2. 安藤氏が支配し、北方交易と日本海交易の結節点として発展した。                      3. 奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂などの仏教文化が花開いた。                      4. 日明貿易の拠点となり、会合衆と呼ばれる有力商人による自治が行われた。